

2 今年度の研究の視点と方法

視点1

見方・考え方

- ◆働きさせたい
見方考え方の明確化
- ◆単元デザインの工夫
- ◆課題や問題、資料、問い合わせの吟味

【方 法】

- ▣指導事項を的確に捉えた教材研究
- ▣単元デザインシートの作成
- ▣セレクト学習の位置づけ
(見方・考え方を働きさせながら主体的に学ぶ場面を単元の中に設定する)
- ▣児童が見方・考え方を気付くしきけ作り
- ▣気づきを促したり、学びを深めたりする問いの精選

視点2

対話の活性化

- ◆目的や視点の共有
- ◆他者参照の有効活用
- ◆探究的・課題解決的な学びの過程

【方 法】

- ▣思考の軸をそろえる一斉指導
- ▣ICTを効果的に活用した他者参照の仕組み作り
- ▣自己ごととなるような課題やゴールの設定
- ▣対話のスキルアップのための日常的な取組

視点3

教師の見取り

- ◆子どもの状況に応じた関わり（個・全体）
- ◆ICTを活用した学習状況の把握
- ◆検証

【方 法】

- ▣CをB、BをAにするための個別の支援
- ▣児童をつなぐ働きかけ
- ▣全体の思考を促すアンケートや価値づけ
- ▣学習支援ソフトの効果的な活用
- ▣児童のふりかえりの分析（生成AIの活用）
- ▣言語活動の成果物やプラスワンテストでの評価と検証

外部講師を招聘した研修会の実施

- ・LDXスクール事業
- ・学びのベーシック事業
- ・プロセスアシスト訪問

研究授業の実施と協議

- ・全体研究授業、部会授業
- ・若プロチャレンジ授業
- ・校内研修会

日常的な実践交流による事例の収集と共有

- ・浜DX実践交流
- ・浜DX★DAY
- ・授業づくり研修の実施

3 研究組織と進め方

